

















調 査 名

ボーリングNO.								
----------	--	--	--	--	--	--	--	--

## 事業・工事名

シートNO.

ボーリング名		No.1-L		調査位置						北緯		36° 27' 41.3500"					
発注機関		栃木県真岡土木事務所				調査期間		2008-03-04 ~ 2008-03-05				東経		140° 06' 04.3700"			
調査業者名				主任技師				現代場 代理人		コ 鑑 定 者				ボーリン グ責任者			
孔口標高		78.97 m		角 度				方 向				地盤 勾配				使用 機種	
総掘進長		8.00 m						試錐機 エンジン				ハンマー 落下用具 ポンプ					

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取			室内試験	掘進月日		
												深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量	深度	試験名および結果	深度			試料番号	採取方法
													0	10	20								
(m)	(m)	(m)	(m)									(m)			(m)								
1	77.87	1.10	1.10		富士(BS)	暗褐			ローム主体にて砕石混入多く、締まり良い。0.4m付近玉石を混入する。 [0.60]GL-0.6mより、砕石混入少なくなる。炭化物若干混入			1.15	1/15	1/15	2/30								
2	77.47	0.40	1.50		シルト(M)	暗灰		軟らかい	含水中位 雲母片、炭化物混入		03/05 2.15	1.45											
					粘土(CH)	茶灰～暗灰		軟らかい	含水多く、上部やや粘性ある。 [2.00]GL-2.0mより暗灰色を呈し、粘性弱くなる。			2.15											
3	76.47	1.00	2.50		シルト質細砂(FSM)	暗灰		緩い	含水多い 粒子微細で、シルト分混入多い。			2.65											
	76.17	0.30	2.80		シルト	暗灰		緩い	含水やや多い 砂分若干混入。			3.15	00/15	1/5	2/30								
	75.67	0.50	3.30		シルト(M)	暗灰		緩い	含水多い 粒子やや粗く、雲母片、石英粒混入する。			3.45											
4	74.97	0.70	4.00		細砂(FS)	暗灰		緩い	含水多い。水分30%程度混入する。細砂を薄層状に挟む。やルーズである。			4.15				6/30							
	74.17	0.80	4.80		礫混じり細砂(FS-G)	暗灰		緩い				4.45	2/2	2/2	2/30								
5	73.17	1.00	5.80		砂礫(GS)	暗灰		中ぐらい	含水やや多い マトリックスは細砂で締まり中位。礫径2～30mm程度。亜角礫主体である。			5.15	4/4	5/5	7/16								
6					軟岩(WR)	暗青灰			含水少ない。風化著しく、砂岩質で砂状を呈す。所々角礫状を呈し、長石所々混入する。			6.15	20/20	22/22	8/3	50/23					03/04		
7	72.17	1.00	6.80									6.38	50/50			50/0							
					中硬岩(MR)	暗青灰			砂岩で、岩石の風化は見られなく新鮮である。RODは良く、コア採取率は80%程度である。			7.00	7.00										
8	70.97	1.20	8.00									8.00	50/8.00			50/0					03/05		